

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

国産シルクから抽出したナノレベルのフィブロインを活用したスカルプトニックの開発・製造・販売

国産シルクから抽出したナノレベルのフィブロインを活用したスカルプトニックの開発・製造・販売を行う。

➤ 連携体

- 農林漁業者** 瀧本 亀六(法人番号 -)(養蚕業)
桑を生産し蚕を育て、さなぎを取り出し繭の製造・販売を行う。
- 中小企業者** (株)ディック(法人番号9500001019922)(飲食業)
シルクの主成分であるフィブロインとスカルプトニック製造に有効な成分を配合・加工を行う。
- 中小企業者** (株)リバースプロジェクトレーディング(法人番号1010001175120)(地域商社)
シルク原料を活用したスカルプトニックの企画・販売を行う。
- 連携参加者** (株)プロテックス・ジャパン(法人番号7130001040042)(頭髪用化粧品製造業)
(株)リバースプロジェクトレーディングの委託を受けて、スカルプトニック商品の製造を行う。
- サポート機関等** (独)中小企業基盤整備機構四国本部

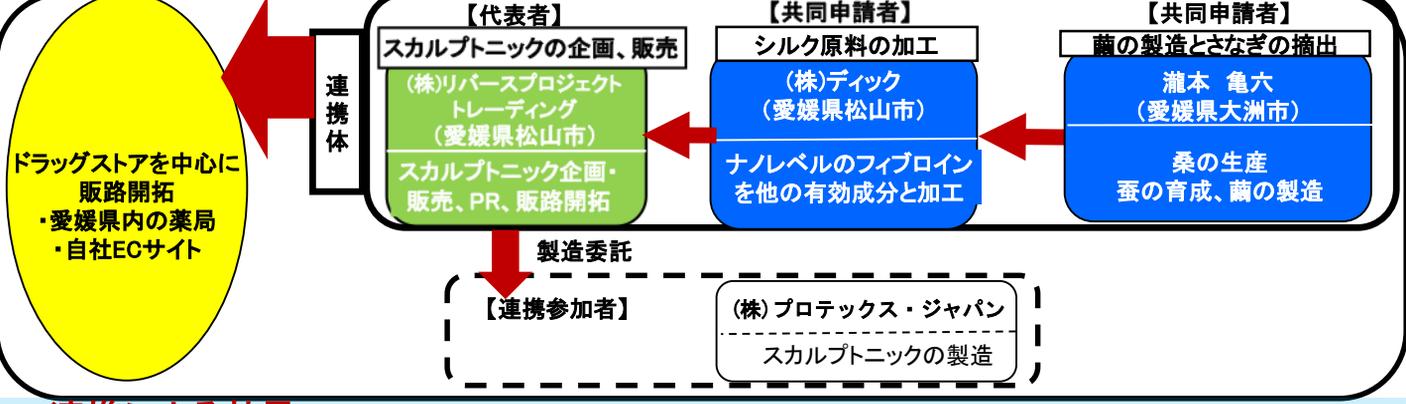
➤ 連携の経緯

(株)リバースプロジェクトレーディングは、平成28年10月より「愛媛シルクプロジェクト」を地域共創プロジェクトとして推し進める中、愛媛県松山市に拠点を置く(株)ディックとシルク産業を通じて地域に貢献できる事業についての意見交換や協議を行った。両社は平成30年6月1日付で業務提携契約を締結の上、繭の生産から原料加工、商品開発・製造・販売までを一貫して管理・実施できる新たな体制構築を計画。国内シルク産業は、繭の生産を行っている養蚕農家の高齢化、収入減等の理由による廃業が大幅に増加しているが、愛媛県も例外ではなく、昭和初期に、約16,000戸あった農家は、現在、11戸まで減少。国内シルク産業が抱える課題を解決するためには、これまでの延長線上にはない抜本的な改革が必要であると考えていたところ、愛媛県内において最も繭生産量が多い大洲市より瀧本亀六氏を紹介頂き、話し合いを重ね、「愛媛シルクプロジェクト」についても賛同、この度の農商工連携に至った。西日本豪雨災害では協力して養蚕設備の復旧・再開を実現した。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

瀧本亀六は、前年までは愛媛県外に繭を販売していたが、今回の取り組みは繭からさなぎを取り出したものを県内の(株)ディックへ供給する。(株)ディックは、シルク成分の主成分であるフィブロインとスカルプトニックに有効な成分の配合、加工を行う。さらに(株)リバースプロジェクトレーディングは、シルクを主成分とする有効な成分原料の供給を受けスカルプトニックの商品企画と規格設計を行い、(株)プロテックス・ジャパンに製造委託し最終製品に仕上げる。製品を梱包するパッケージデザインから、PR、販路開拓、市場ニーズ喚起に至るまでは、(株)リバースプロジェクトレーディングが中心となり連携して行う。



➤ 連携による効果

- 農林漁業者** 4年で535万円の売上高増加、安定的な収益確保による経営安定
さなぎを取り出した繭の販売による売上の増加により、安定的な収益確保が図られるなど、経営安定化が期待される。
- 中小企業者** 4年で5,760万円の売上高増加、収益性の改善
シルク原料を活用したスカルプトニックの企画・販売により売上の増加と収益性の改善が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社リバースプロジェクトレーディング 所在地 : 愛媛県松山市立花3-3-38
TEL : 089-909-7793 FAX : 089-909-7794
E-mail : kiyotani@rebirth-project-tr.jp